



小石川フィロソフィー2 では、自然科学の分野に目を向け、統計学の内容を進めていきます。統計を学習するにあたり、統計学とはどのようなものなのか、また、どうして必要なスキルなのかという内容で、中央大学の酒折先生をお招きし、講演をしていただきました。講演を聞き、生徒はさまざまな刺激をうけたようでした。今後の学習に繋げてもらいたいと思います。以下、生徒の感想を紹介します。

<感想>

統計は、理系文系関係なく、全員が知っておくべき知識だという事について、私も同じことを感じました。天気予報や合格率など、日々の生活でなくてはならない情報は統計からきている。

私は、統計は理系の分類で、やや堅苦しいイメージだと思っていた。しかし、何でもかんでも数字をつかって難しいわけではなく、「条件付き確率」のように、何らかの条件を出すことや、それを応用して次につなげるその過程は、そこまで難しくない。むしろ日常に活かされていて、親しみやすい学問なのかもしれないと感じた。悪い統計からは、正しい統計学が守ってくれると言っていたので、これから頑張りたい。